

趣 意 書

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授長尾善光先生には、平成十九年三月三十一日をもって定年退任されることになりました。

先生は、昭和四十一年東京理科大学薬学部をご卒業後、直ちに京都大学大学院薬学研究所修士課程に入学され、昭和四十六年同大学院薬学研究所博士課程を修了されました。同年に米国バージニア大学化学科教授モーリス・カプチャン研究室に博士研究員として留学され、昭和四十八年に京都大学化学研究所教授藤田栄一先生ご担当の生理活性研究部門の助手に就任、昭和五十八年に同助教教授を経て、平成二年に徳島大学薬学部及び大学院薬学研究所薬品科学専攻の教授（薬化学研究室担当）に昇進されました。その後、平成八年に設置された医療薬学専攻臨床分子薬品学講座の兼任教授に就任され、平成十六年に医・歯・薬大学院統合によって設置された大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（分子創薬化学分野担当）の教授に就任されて現在までに至っております。その間、徳島大学評議員、補導厚生委員会委員、大学将来構想委員会委員（専門委員会副委員長）、広報委員会委員（徳大広報誌編集専門部会初代部長）、大学改革委員会委員等の各委員を歴任、平成十三年には徳島大学薬学部長・同大学院薬学研究所科長に就任され、当時の学内各種委員会の統廃合、大学教育改革及び将来構想ならびに徳大広報誌の抜本的改革（文部科学省より優秀賞を二度受賞）等徳島大学の運営と発展にご尽力されました。特筆すべきは、医学及び歯学両大学院研究科長と共に三大学院共同体制下に統合大学院構想へと発展させ、また、大学院薬学研究所薬品科学専攻代表者として大型研究資金である文部科学省平成十三年度教育研究拠点形成支援経費を獲得することなどに貢献され、徳島大学大学院薬学研究所が高度研究推進大学院として全国的に注目される礎を築かれました。

先生の研究室からは、八十九名の学士、五十七名の修士、ならびに三十一名の博士（課程十七名、論文十四名）が輩出されました。また先生は、京都大学、九州大学、北海道大学、千葉大学等の各大学院薬学研究科、愛媛大学大学院理学研究科、米国オレゴン州立大学薬学部、オランダグネイメーヘン大学理学部等の客員教授や非常勤講師としても活躍され、韓国ソウルにて本学薬化学研究室とソウル国立大学校薬学大学薬化学研究室との学生間研究発表交流会を企画実施するなど、教育・研究両面においても国内外で多大の功績を残されておられます。先生は、助手及び助教教授時代にはチオール酵素及び補酵素阻害を示す生物活性化化合物の開発ならびに含イオウ脱離基を活用する新反応の開発研究を展開されました。なかでも、アキラル及びキラルなチアゾリジンチオンを活用する各種新反応開発、ならびにその医薬品合成開発及び生理活性天然物合成への応用研究は独創的であり国際的にも注目されております。特に、プロキラルなシグマー対称ジカルボン酸誘導体の不斉非対称化の新概念はこの研究分野の爆発的な進展の契機となり、また長尾不斉アセテートアルドル反応と名付けられて今でも世界中で利用されている反応もあります。教授にご就任後は、分子構造特性を基盤とするケミカルファルマサイエンスという学術研究大綱のもとに、化学や化合物分子構造という視点から薬科学研究

における先生独特の基礎研究と応用研究を展開され、多岐にわたり有用新反応ならびに創薬研究成果を發表されておられます。なかでも、イオウ原子と各種ヘテロ原子との分子内及び分子間非結合性相互作用に関する基礎及び応用研究成果、ならびに産学共同研究下に医薬品として開発された新世代カルバペネム系抗生物質ピアペネムに関する研究成果は注目に値します。これらの優れた研究業績によって、昭和五十七年に日本薬学会奨励賞を、平成十三年には「分子構造特性を基盤とする新反応の開発ならびに薬学的応用研究」により日本薬学会賞を受賞されました。さらに、平成十四年に徳島大学から三木財団康楽賞を、そして平成十五年には、科学の発展および普及に寄与されたことにより東京理科大学から第五回坊っちゃん賞を受賞されておられます。

日本薬学会においても、先生は、評議員、理事、監事、中国四国支部長、学術誌編集員、薬学会賞第一次及び第二次選考委員、創薬科学賞選考委員長、教育賞選考委員長等の役員を歴任されておられます。また、先生は、第四回長井長義記念シンポジウム、第三十九回日本薬学会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会、第十八回有機合成化学夏季大学、第四回医薬品の分子設計開発に関する日豪合同シンポジウム、そして第三十二回複素環化学討論会等の実行委員長及び共同組織委員長として学會活動にも貢献されておられます。さらに、徳島県薬事審議会委員、徳島県環境審議会委員、そして徳島新聞社賞候補者推薦委員として社会貢献活動にも尽力されておられます。

この度、先生のご退任にあたり、多年のご功績を讃え併せて感謝の意を表すため、左記の記念事業を計画致しました。

つきましては、何卒この趣旨にご賛同の上ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成十八年十一月吉日

長尾善光教授定年退任記念事業会

発 起 人 一 同

各 位

記

記念事業

- 一、最終講義及び退任記念祝賀会開催
- 一、退任記念誌出版
- 一、記念品贈呈
- 一、その他

最終講義

演 題 分子構造特性を基盤とするケミカルファルマサイエンス
日 時 平成十九年二月三日（土）午後五時より午後六時三十分
場 所 ホテルクレメント徳島（4階・クレメントホール 西）
徳島市寺島本町西一丁目六十一番地（同封の地図をご参照下さい。）
電話（〇八八）―六五六―三一一（代）

退任記念祝賀会

日 時 平成十九年二月三日（土）
午後六時三十分より記念写真撮影、午後七時より祝賀会
会 場 ホテルクレメント徳島（4階・クレメントホール 東、中）
徳島市寺島本町西一丁目六十一番地（同封の地図をご参照下さい。）
電話（〇八八）―六五六―三一一（代）

会 費 壱万五千元

送金方法 同封の郵便振替用紙にて平成十八年十二月末日までにご送金下さい。

郵便振替用紙は、退任記念祝賀会会費払い込みならびに醸金払い込み兼用となっておりますので、お手数ですが払い込み用紙の内容を通信欄に必ずご記入下さい。なお、勝手ながら領収書は振替払込金受領書をもってかえさせていただきます。

（口座番号）01640―6―38826

（口座名称）長尾善光教授定年退任記念事業会

醸金要領

醸金額 一口（金五千元）以上（口数は端数でも結構です。）

送金方法 退任記念祝賀会と同じ

お手数ですが準備の都合上、同封の葉書に必要な事項をご記入の上、平成十八年十二月末日までにご返送いただきたく存じます。

記念事業の運営につきましては、実行委員会にご一任下さいますようお願い申し上げます。なお、本記念事業に関するお問い合わせは左記にお願い致します。

〒七七〇―八五〇五

徳島市庄町一―七十八

徳島大学 薬学部 薬化学研究室内

長尾善光教授定年退任記念事業会（佐野）

電話 (〇八八) 六三三―七二七三

ファックス (〇八八) 六三三―九五〇三

E-mail : che@ph.tokushima-u.ac.jp

以上

長尾善光教授定年退任記念事業会發起人

(五十音順、敬称略、◎印実行委員長、○印実行委員)

青柳 榮	赤井 周司	浅川 義範	浅野 和徳	味戸 慶一
東 満美	畦津 亜子	畦津 知宏	安部 忍	阿部 隆夫
阿部 仁	新垣 尚捷	荒木 勉	有本 正生	安東 純一
安藤 毅	飯森 均	池内 元樹	池江 克文	池北 雅彦
池田 高夫	井澤 邦輔	石井 孝拓	石川 勉	石田 竜弘
石橋 弘行	井宗 康悦	磯田 武寿	市川 喬士	市川 哲雄
伊藤 彰近	伊藤 孝司	伊藤 望	井上 勲	井上久美子
井上 淳	井上 尚兵	井上 武久	井原 正隆	岩井 靖賢
岩城 茂	岩垂 正矩	尹 亨月	植木 章晴	植田 勝
植野 哲	浮田 辰三	宇佐美吉英	後河内聡子	後河内秀樹
内海 英雄	宇野 公之	宇留野 強	大井 高	大川 赳
大久保裕子	大久保好規	大崎万希子	大島 吉輝	大勢裕希子
太田 茂	◎大高 章	大谷 直明	大谷 光昭	岡崎 真治
岡村 隆志	小川 志穂	尾崎 洋平	◎落合 正仁	折戸 太一
掛川 寿夫	梶本 哲也	柏木 貴雄	柏田 良樹	門田 重利
金子喜三好	上野 麻衣	亀田 泰輔	龜山 豊	川添 和義
川端 浩二	川端 猛夫	木曾 良明	北 泰行	北川 幸己
北澤千香子	北村 正孝	木下 陽子	◎木原 勝	金 權
木村聰城郎	木村めぐみ	際田 弘志	久次米永子	◎楠見 武徳
国嶋 崇隆	久保 哲蔵	◎熊谷 年夫	熊沢 益徳	糸 昌治
倉本 康弘	栗田 城治	黒木 保久	黒田 陽子	桑原 淳
小暮健太郎	腰岡 桜	小谷 幸弘	後藤 勝実	後藤 道理
後藤 了	小林 進	小林 良磨	近藤 竜也	近藤 裕郷
齋藤 克行	早乙女秀雄	笹岡三千雄	佐々木 滋	佐藤 毅
◎佐野 茂樹	塩見 浩人	重永 章	◎宍戸 宏造	東雲 三和
篠原 康雄	柴崎 正勝	柴田 洋文	渋谷 雅之	嶋林 三郎
清水 壽	十一 元晴	鄭 日允	陳 青根	新藤 充
末田 拓也	杉原多公通	鈴木 一郎	鈴木 正暢	瀬野 薫
戴 偉民	田上 裕美	◎高石 喜久	高岡 義和	高須 清誠
高谷 忠伸	高谷 万紀	高橋 秀依	高畑 廣紀	田上けい子

滝口 祥令	武市陽一郎	竹内菜穂子	竹内 靖雄	竹内 義雄
武田 敬	武田 健	武田 美雄	武久 知佳	竹本 裕香
竹安 正範	田中 明人	田中 悟	田中 秀治	田中 裕子
谷川 泰清	谷口 正俊	谷本 典昭	田沼 靖一	田房不二男
玉井 聖	ダンテインパン	丹波 道子	中馬 寛	長 秀連
辻 彰	辻 大輔	辻田 美穂	土屋浩一郎	角田 鉄人
津村 武史	出川 雅邦	寺田 忠史	寺西 理恵	杜 玉民
東條 俊明	通 元夫	徳村 彰	富岡 清	富永 樹
仲 建彦	中尾 允泰	中川 論	長澤 一男	永澤 秀子
中島 正晃	長瀬祐之助	中野 沙織	中野 文仁	中山 仁
永山 績夫	夏莉 英昭	七瀨 浩志	南 基泓	西 孝夫
西木まゆみ	西沢 麦夫	西島 宏明	西島 洋美	西谷 淳一
西出喜代治	根本 尚夫	根本夫規子	野崎 和緒	野田 恵子
野出 學	野村 和司	朴 基勲	橋本 佳奈	橋本 俊一
橋本 敏弘	長谷 和志	濱田 康正	林 一彦	原島 秀吉
原田 悦子	比企 紳介	樋口 富彦	日野 知証	日比野 俐
日比野俊彦	姫田 敏樹	平井 美朗	平岡 功	平田 晃陰
平松由佳子	福井 裕行	福山 愛保	藤井 郁雄	藤井 信孝
藤岡 弘道	二木 史朗	芳地 一	細井 信造	○堀 均
堀尾 修平	堀田 清	本城 崇	本多 利雄	前田 健一
前田 知子	牧野 公子	増田 隆司	松岡 暁子	松田 彰
松田 陽恵	松永 浩	松村 功啓	松本 和男	丸山 茂樹
水口 博之	三谷 智子	水口 和生	三平 亜土	宮入 伸一
宮内 智	三宅洋一郎	宮本 和範	宮本 聡	宮本 素行
三好 徳和	三輪 敏男	向 智里	目黒 寛司	森 裕二
森金 哲生	森本 晃允	森元 健次	八木 徹雄	安井 泉
安野 敬子	山内あい子	山崎 尚志	山田 省三	山田 賢恵
山田 敏彰	山田 敏英	山本佳代子	山本 千代	横山 祐作
吉田 千晶	吉田 昌裕	吉田 芳樹	吉村 好之	李 雨松
劉 曉凱	和田 眞	渡部 一仁		